

2023年4月17日
株式会社新日本科学
<https://www.snbl.co.jp>
(証券コード:2395 東証プライム)

Satsuma Pharmaceuticals, Inc.の買収に関するお知らせ

株式会社新日本科学（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下「当社」）と、当社の経鼻投与技術のライセンス先である米国のバイオテクノロジー企業 Satsuma Pharmaceuticals, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、President 兼 CEO: John Kollins、以下「Satsuma 社」）は、新日本科学による Satsuma 社買収の正式契約を締結することで合意しましたので、お知らせいたします。

Satsuma社は米国での偏頭痛の急性期治療を目的とした経鼻治療薬（STS101:ジヒドロエルゴタミン（DHE））の大規模な臨床第3相試験を完了しており、2023年3月に米国FDAへ新薬承認申請（NDA）を実施済みです。現在、FDAの承認要件である製造施設の準備を進めております。

当社は、本契約に基づき、総額約30.2百万ドルでSatsuma社の普通株式を現金で取得いたします。また、全世界を対象としたSTS101の独占的開発製造販売権を取得いたします。

なお、米国には偏頭痛の患者が約4,000万人と推定されています。さまざまな症状の患者さんがおられ、症状に応じた多様なタイプの治療薬が求められている領域となっております。

Satsuma 社 President 兼 CEO John Kollins のコメント：

『Satsuma 社と STS101 の将来を見据えて様々な選択肢を慎重に検討した結果、Satsuma 社の取締役会は、新日本科学による買収が戦略的にも最良であり、当社の株主価値を最大化するものと考えております。また、我々は、STS101 には偏頭痛の重要な急性期治療として広く処方され多くの偏頭痛患者のアンメット・メディカル・ニーズに対処できる可能性があると考えております。この考えを新日本科学が共有していることを嬉しく感じております。』

新日本科学 代表取締役会長兼社長 永田良一のコメント：

『この度、当社の独自経鼻投与基盤技術のライセンス先である Satsuma 社が開発した経鼻治療薬の上市にかかわることができ、大変幸せに感じております。STS101 は携帯性に優れ、使用方法が簡便、且つ良好な安全性と忍容性を備え効果が持続するといった特徴も有していることから、急性期の偏頭痛に悩む患者様の生活の質（QOL）向上に貢献できると考えております。当社は使命として、“創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放すること”を掲げております。STS101 が多くの偏頭痛患者の皆様の選択肢となり、偏頭痛に苦しむ患者様に一日でも早く届くことを心から願っております。』

本件による当社の2024年3月期通期連結業績への影響については現在精査中です。詳細については、本日開示の「Satsuma Pharmaceuticals, Inc.との買収契約締結に関するお知らせ」もご参照ください。

<新日本科学について>

株式会社新日本科学（東証プライム：2395）は、国内外の製薬会社や研究機関、バイオベン

チャーのパートナーとして医薬品開発業務の受託研究を行う、1957年創業の国内初のCRO（Contract Research Organization）です。新日本科学グループは、「環境、生命、人材を大切に
する会社であり続ける」という企業理念のもと、CRO事業においては、基礎研究・創薬を
含めた医薬品開発の全ステージを受託できる国内唯一の企業としてパートナーの新薬開発支援
に取り組むとともに、トランスレーショナルリサーチ事業では、独自開発した経鼻投与製剤
技術やデバイスを活用した自社開発品のライセンス活動に注力しています。また、鹿児島県
指宿市では、広大な森林と自然を活用したメディポリス事業を行っており、地熱発電やリゾー
トホテル運営などを通じて地域経済の振興と環境保全を推し進めるとともに、人々のウェル
ビーイング（Well-being）と生活の質の向上に貢献し、幸せの連鎖を創造する活動を展開して
おります。詳細については、HP（<https://www.snbl.co.jp/>）をご覧ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
(株)新日本科学 IR 広報統括部 岩田
TEL: 03-5565-6216
E-mail: ir@snbl.com